

# 常磐毎日

発行所 75 行 社  
平 田 町 新 開 社  
常 磐 毎 日 新 開 社  
當 部 専 門 部  
編 集 部 1,210  
1,266

夏家具と家庭用品  
冷蔵庫、夏涼し風、ハイ線  
暖いす、スタレ、その他  
創業元の伊東家具店  
平市新町四丁目

## 今晩宮町(内)にまた放火

姿なき放火魔におびきつている内郷市に今晩七度目の放火事件が発生した。しかも今晩の放火は二十日にわずか五メートルほどしか離れていない瑞芳寺に放火した直後だけに完全な計画的放火とみられ、市民の放火ノイローゼは全く頂点に達している。

## 犯人、寺の裏山へ

### 夜警番の追跡逃れ

二十二日午前三時十分ごろ、昨日放火のあった瑞芳寺から約五メートルほど離れた内郷市宮町野子の雑貨商田畑一さん宅の裏山に積りかき放火したとみられる。夜警中の無職田畑一さん宅をめぐり、火事だ、と附近の住人に知らせたので大事に至らず消し止めたが、犯人とみられる白ワイシャツ姿の男は追跡をくらまして裏山へ逃げ込んだ。

## 日撃者

田所さんの話  
外でパチパチと音が目撃者を驚かし、目を開けたら五尺二寸ばかりの白ワイシャツ姿の男が逃げ去った。私の家は前にも焼かれたのでまた焼かれたら大変と火を消すのに無中ではよくおぼえていません。

## 内郷大火に見舞金を贈る

磐城の子供会  
磐城市字後字子供会ではこの間内郷市宮町の火災見舞金として下さるいと千円を市福祉事務所を通じて寄贈した。

## JISの標語を募る

県教育委員会平出課所では工業標準化法に基づきJIS表示商品の一般消費者への普及と品質管理の生産と広く工場への浸透を図るため

## 13年振りで対面 終戦に別かれた実子と

終戦のとききまきまに別れて、人生の旅路の果てを平養老園で再びめぐり見た実母が、十三年振りにこれら八方手をついて握手して、涙がこぼれ、二十一日、平養老園が開園した去る二十七日八月間もないころに入園していた實木ナカ子さんが、終戦のとき別れた母と対面した。その母は、二十一年に北海道小樽市舟町六ノ七近藤さん方に嫁いでいた。その母は、二十一年に北海道小樽市舟町六ノ七近藤さん方に嫁いでいた。その母は、二十一年に北海道小樽市舟町六ノ七近藤さん方に嫁いでいた。

## 五千石増収みこむ トンネル測量着手

小川江の改修  
調査のヤマとみられるトンネル地点の地質調査を二十五日から約一カ月に亘って行うことになり、本年度に本格的な大工事を起すことになった。

水路を改修して水不足による旱ば、調査のヤマとみられるトンネル地点の地質調査を二十五日から約一カ月に亘って行うことになり、本年度に本格的な大工事を起すことになった。

## 放火犯遂に捕る

本人は炭礦夫の人見勘一  
否認  
内郷署は眞犯人と断定

相次ぐ放火事件を追求中の内郷署は二十二日午前九時市宮町五十四番地の炭礦夫人見勘一(三三)を有力容疑者として任意出頭を求め、県警本部の課本部長を調べるが、高坂小学校の放火現場に残された足跡と人見の靴が同一視され、また今朝の雑貨商放火の際の逃走経路、距離、時間などから二事件は同一人の仕業に間違いないと内郷署では断定している。本署昨日の瑞芳寺の放火も人見とみられる有力な証拠があらわれない。本署現在この人見は強行犯行を否認しているが、自供にアイマイ本心で多く同署では今夜中に逮捕状を執行するに決まると聞いている。

## 時計。指輪 秋山

平野前  
秋山  
時計。指輪  
秋山

## 日鉄入茎で 永年者表彰

創立一周年を迎えた四倉町日鉄八  
永年者表彰  
日鉄入茎で 永年者表彰

## 勿来便り

勿来便り  
勿来便り

## 父栄 蔵

父栄 蔵  
父栄 蔵

## 父善次郎 儀

父善次郎 儀  
父善次郎 儀

ゆるしてよ句  
よき煙なれば  
藤越  
小名浜 平市

厚生医療指定病院  
財団法人 竹林病院  
本院 平市十五丁目十三番地  
電話六〇八・八二番  
分病棟 平市小太郎町十三番地  
電話一七四番

電話帳の廣告は  
電話加入の皆様  
電話局

五月人形  
久月作  
夏家具は本店階上  
四丁目支店に陳列中  
あるが  
平銀座街 電話223

男子店員急募  
十八才—二十五才まで 数名  
通勤住込みづれにても可  
四輪車運転手二名求む  
正内町 舟津屋肉店 電話741

